

礼拝プログラム

2019年4月7日

司会: 本多兄 奏楽: 西井姉 通訳: 石塚姉

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈禱: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「現実的な投資の勧め」

""How to Invest in REAL Estate ""

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝禱: * Benediction

*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のまままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。

Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: 町田姉、石井姉

グリーター: リード姉、プロクター姉

ナーサリー: 大倉姉、奏姉

チルドレンチャーチ: テリケス姉、憩兄

セキュリティ: 畠山兄

来週、14日の礼拝

司会: 西井兄 奏楽: 石塚姉 通訳: 石塚兄

メッセージ: 「この御恩を決して忘れてはならない」

賛美: 新聖歌105、新聖歌108

アッシャー: ディッチ姉、ストーン姉

グリーター: 福島姉、町田姉

ナーサリー: 西井姉、パーク姉

チルドレンチャーチ: 大野姉、奏姉

セキュリティ: 西井兄

おしらせ

本日の礼拝後の予定

コーヒアワー、バイブルスタディー
カレーランチ、理事会、ゴスペル・フラ練習、ユース

■礼拝によるこそいらっしやいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■今日はカレーランチです。どなたもお楽しみください。また、今年の修養会バスのためのラブオフリングをしますのでご協力をよろしく願います。

■来週日曜日の12時15分からゴールデンヒル公園でイースターピクニックがもたれます(5296 Golden Hill Drive, San Diego CA 92102)。このために日本語部はごはんもののランチ、またイースターエッグのドネーションを募っています。また日本人の方々のためのゲストブースでウエルカムをしていただけたらと願っております。

■4月19日(金)、午後7時よりグッドフライデー礼拝をもちます。昨年のように今年もイエス様の十字架の七言を七人の方達がシェアします。

■7月2日(火)ー5日(金)まで今年もサンタバーバラ・ウエストモント大学で「こおんな旅がしたい！」(イザヤ43章19節)をテーマに修養会が持たれます。申込書をお配りしましたので5月26日までにチェックと共に英子さんにお渡しください。また往復のバス乗車を希望なさる方は八尋ホールのサインアップにご記入ください。

今週の予定

9日(火)	南加牧師会	
10日(水)	水曜集会	7:30pm-
11日(木)	木曜集会	10:30am-
12日(金)	会報発行日	
	ななみ会	10:00am-
	恵み会	10:30am-
14日(日)	イースターピクニック	12:15pm-

おしらせ

『あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。あなたの宝のある所には、心もあるからである』(マタイ6章19節ー21節)

松下電器産業の創業者である松下幸之助さんは1979年、将来の日本をしょって立つ人材を育てようと松下政経塾を設立し、その機関紙の中に、こんな一文を書きました。

『私たちは、おおむね株式とかブタの貯金箱とか、程度の違いはあれ、お金を貯めることに熱心です。けれども、誰でも、死ぬときに財産を持って行けるわけではありません。すべてのことは、いつか破壊され、取り去られる運命にあるのです。よく知識は盗まれないとって、子供の教育だけは熱心にする人がいます。しかし、それでさえ、病いやケガで失われまいとは限りません。ただ「天に宝を積むこと」だけが永遠に失われる心配がないのです。「宝を天に貯える」。この考え方を拒否するか、受け入れるかの違いはあっても、聖書のこの部分はすべての欧米人の頭にあるのです』(松下政経塾「聖書講座」から)

今日、このことが全ての欧米人の頭にあるのかは分かりませんが、松下さんの心には、これからの国際社会のパートナーである欧米人の心を知らなければならないという思いがあったのでしょうか。そして、そのみならず、その洞察力をもって「天に宝を蓄える」ような生き方こそが、最終的に国に対しても、会社に対しても、また自分自身に対しても最高の益をもたらすものなのだとすることを理解し、それを塾生に伝えたかったのでしょうか。